

平成 28 年度 中魚沼郡・十日町市家庭科部 活動報告

部長 佐藤 茂幸

1 研究主題

「身近な材料や地域素材を生かした、実践的な技術・家庭科の授業づくり」

2 研究の実際

(1) 技術・家庭科部と学校給食部との合同研修会

- ① 日時：8月23日（火）9：30～12：10
- ② 会場：十日町地域振興局健康福祉部（保健所）3階 講堂・栄養指導室
- ③ 講師：十日町市地域振興局健康福祉部地域保健課 課長補佐 管理栄養士 原 聡子 氏
十日町市食生活改善推進委員協議会 中条地区推進委員 岩田 アキ 氏
十日町市食生活改善推進委員協議会 中条地区推進委員 久保田 宏子 氏
- ④ 内容：「時短、簡単パッキングと身の回り品の製作
～災害時のライフライン停止による避難所生活や介護等に役立つ～」

レクチャーを受け、その後実習を行った。感想として「6年生の調理実習に、器具を限定する、食器も手作りするなどの点で役立てられる」「ポリ袋に入れて煮るだけで“真空調理”となる原理が分かった」「時短、簡単、エコ、ヘルシーな調理法としてマスターできた」「部員の学びを授業や校内研修に生かすことができた」等が寄せられ、学習への活用可能、かつ実践的な内容であった。

(2) 授業研究会



- ① 日時：11月14日（月）14：10～16：30
- ② 会場：十日町市立上野小学校
- ③ 内容：授業研究会（小学校5学年家庭科 題材名「ご飯とみそしる作り名人になろう」）
- ④ 授業者：十日町市立上野小学校 柳 隆子 教諭
- ⑤ 内容

部員が在籍する十日町市立上野小学校の校内授業研究会に協力を得て、部員13名、上野小学校職員10名、合計23名の参加者で公開授業と協議会を開催した。

子どもの素直なつぶやきや生き生きとした活動が表出していた。理由は、授業者の周到的な準備による場の設定と支援があったこと、目の前の「教材」があり自ら学び取る学習が成立していたことである。今後は、課題提示前の問題意識を醸成する導入場面と観察結果を交流する終末場面を工夫することで、一層主体的な学習が具現され、しかも学習内容の定着につながると思われる。

授業者から頂戴した学びと協力校の上野小学校職員に感謝しながら、今後も技術・家庭科の授業実践を協力して推進しようと部員一同、決意を新たにされた。

3 成果と課題

成果と課題は上記で述べたとおりである。重点教科の予算をいただき、2回の充実した活動が実現できた。授業研究会では、家庭科を専門とする講師からご指導いただけることが望ましいため、今後は経費（謝礼等）と日程の面から調整を図っていく必要がある。